

二風谷ダム 上流の被害状況

二風谷ダム上流では流木による橋の損壊や溢水、破堤などが数多く見られました。



流木による災害

今回の災害で流木の流出が多く見られました。流木の破壊エネルギーは凄まじいものがあり、洪水の被害を増幅させます。二風谷ダムで約6万7千m³もの大量の流木を捕捉することにより、ダム下流ではダム上流で見られたような流木による被害がほとんどありませんでした。

一般論として流木災害は橋梁や堤防の直接的な破壊に留まりません。橋梁に引っかかった流木のために洪水が行き場を失い、橋梁の直ぐ上流の堤防から溢水して周辺の家屋や農地に流れ込み被害が増幅します。さらに海へ流れ出ると航路障害や漁場・漁具等への被害を引き起こしたり、海流に乗って遠くの海岸へも漂着して被害を拡大させます。

河川に関する防災情報は

- iモード <http://i.river.go.jp/>
- インターネット <http://www.river.go.jp/>

雨量や河川の水位などのリアルタイム情報を無料で提供しています。



二風谷ダム 平成15年8月 台風10号 流木被害について

平成15年8月台風10号出水の
流木被害・撤去状況及び
二風谷ダムによる被害抑制効果について

